

決断と新体験

明見中学校

吉元 芽唯

私は9日間、とても貴重で大きな体験をさせてもらいました。私にとってこのコロラド姉妹都市派遣事業に参加することは、1つの大きな目標でした。そのため、参加できると決まったときは本当に嬉しかったです。しかし、応募するときには不安なこともありました。それは英語が苦手な私が、コロラド・スプリングス市に行ってきちんと生活ができるのか、しっかりコミュニケーションがとれるのか、勉強と両立していけるのか、すごく大きな不安と心配で応募の前日まで悩んでいました。その中で特に悩んだのが、小学校3年生から一生懸命頑張ってきたソフトテニスの関東大会と日にちが重なってしまったことでした。その大会は私の中学校最後の大会でした。しかし、私は家族と話し合い、新しい経験をしてみたいと考え、応募する決断をしました。たくさん悩みましたが、私の決断は間違っていなかったと思いました。

事前に、一緒に行く仲間と何度も研修を重ね準備をしました。私は人見知りする方ではないので、積極的にみんなと話して、交流を深めてきました。その結果、不安はなくなりすごく待ち遠しくなっていました。そして当日の朝、みんなと会うとさらにワクワクしてきました。飛行機は長くて大変だったけど、無事にコロラドへ着きました。私がコロラドで1番思い出に残っているのは、ホームステイです。初めてホストファミリーに会ったとき、ハグで迎えてくれました。私のホストファミリーは、お父さん、お母さん、5歳と7歳の男の子、9歳の女の子の5人家族と犬1匹でした。家に着くと、「WELCOME MEI」のプレートが貼ってある部屋を用意してくれてありました。それから家の中を案内してくれたり、色々なものの使い方を丁寧に説明してくれたりしました。私が言葉に詰まって困っているときは、ゆっくり簡単な単語を使って話してくれました。私は5歳の男の子は簡単な英語で話しているものだと思っていました。でも実際は違っていて難しい英語を話していました。私は同じくらいの英語力だと思っていたので、驚かされました。そこで自分の英語力の無さと勉強不足を痛感しました。それでも子供たちは感情表現が豊かで、私に身振り手振りで一生懸命話してくれたので、少しずつ聞き取りや会話ができるようになりました。ホストファミリー全員が日本に興味を持ち、話しかけてくれて話題を広げてくれるので、コミュニケーションがとれ、すぐに仲良くなれました。1日目からたくさん話すことができてうれしかったです。家ではホストマザーが細かく予定を立ててくれました。湖、動物園、ショッピング、学校、消防署、巨大トランポリン、ゲームセンターなど毎日色々なところに連れて行ってくれました。ホームステイ中に長女の誕生日があり、祖父母の家で誕生日会をしました。日本とは違いとても盛大なものでした。祖父母の家はさらに大きくて、プールやトランポリン、テニスコートもあり、みんなでテニスをしました。コロラドは日が暮れるのがすごく遅いので、夜まで遊んでいました。からっとしていて、虫や蚊もいないので快適でした。ホストファミリーとの5

日間はあっという間に過ぎました。ホストファミリーは笑顔が絶えず、明るくて本当に優しくかったです。お別れの時は「日本へ帰らないでください」と言ってくれて、滞在中に撮った写真をアルバムにして手紙と一緒にプレゼントしてくれました。本当にうれしかったです。もっとホームステイしていたかったです。そして、ホストファミリー全員とハグをしてさよならをしました。この9日間は私を大きく成長させてくれたとともに、私にとって大事な宝物になりました。これからもっと英語を勉強して、またいつか海外に行きたいです。学校の先生方をはじめ、家族、姉妹都市派遣事業に関わってくださった全ての方々に感謝しています。本当にありがとうございました。